

新たな出逢いの場として! Internet Week 2023

集まれ! インターネットワーキング!

「Internet Week 2023」を、2023年11月15日(水)から22日(水)にかけて実施しました。オンラインWeek 3日間、東京大学・伊藤謝恩ホールでのカンファレンスWeek 3日間の計6日間です。この特集では、Internet Week 2023について、概要や見どころを振り返ります。



ホール



多目的スペース

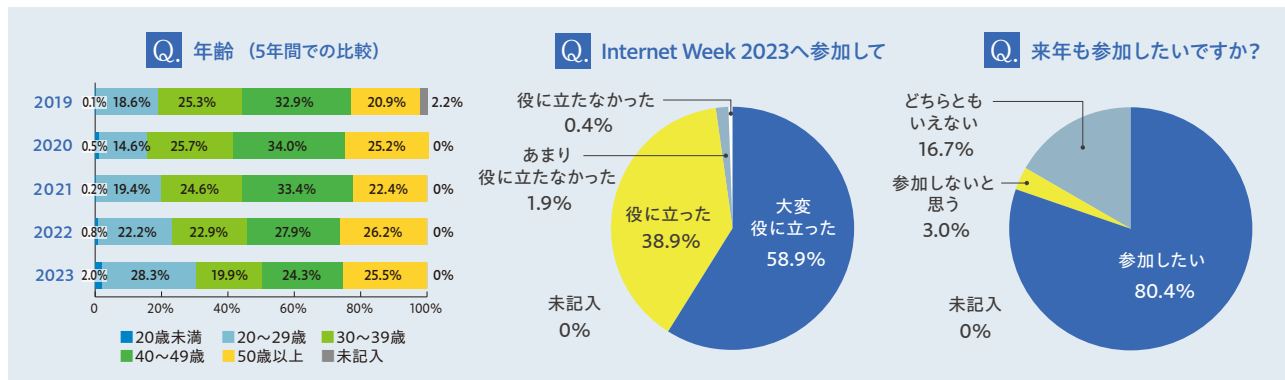


いちじょうの紅葉が綺麗でした

全体の概要について

Internet Week 2023の提供プログラム: 計33プログラム(ハンズオンプログラム 2、通常プログラム 18、ランチセミナー 7、BoF 5、懇親会) **参加者の延べ人数**: オンラインWeek 635名、カンファレンスWeek 2,198名 合計2,833名。平均すると1プログラムあたり、86名の参加。**ユニーク登録者数**: 約700名(関係者を含む)。カンファレンスWeekには約500名、1日平均約250名の方にご来場いただきました。

また、今回の特徴として、10代-20代という若手層の参加登録が増加いたしました。10代は前回比で約2倍の増加となりました。



来場者アンケートでは、「役に立った」という回答が約97%、「来年も参加したい」という回答が約80%となりました。この結果から、満足度の高いInternet Weekをお届けできたのではないかと考えております。他にも貴重な意見をたくさんいただいております。これらを活かして、来年も引き続き皆様に参加していただけるよう、努めてまいります。

アンケート結果はこちらよりご覧いただけます。 | <https://www.nic.ad.jp/iw2023/enq/>



Internet Week 2023

集まれ！インターネットワーキング！

2023年11月15日～22日

オンラインWEEK 15水 16木 17金

カンファレンスWEEK 20月 21火 22水

◎ 東京大学 伊藤謝恩ホール

開催報告

今回のテーマ「集まれ！インターネットワーキング！」

Internet Week 2023のテーマは「集まれ！インターネットワーキング！」でした。2023年はインターネットの国際的な会議が立て続けに日本で開催されたこともあり、技術的な課題だけでなく社会的課題や世界情勢にも目を向ける機会が多くあったと思います。また、2022年と比べて感染症禍が落ち着いたこともあり、新しい出

会いや再会ができたのではないのでしょうか。Internet Weekでもそういった点を意識し、期待を込めて、こういったテーマとなりました。テーマに込めた想いについては、実行委員長・長谷部克幸の挨拶※1もぜひご覧ください。

※1 <https://internetweek.jp/2023/greeting/>

オンラインWeekとカンファレンスWeekという二つの軸

感染症禍になってからこれまで、Internet Weekはオンライン開催・ハイブリッド開催を行ってきました。しかし、今年はハイブリッド開催ではなく、前半3日間はオンラインのみ・後半3日間は会場のみで開催することを決めました。前半は、オンラインだからこそできる、ベーシックな内容や学生が授業の合間に参加しやすいプログラム・ハンズオンを集約しました。後半はあえて会場のみでの開催とすることで、実際に訪れて・聞いて・議論して・会話する、

ということを改めて行える機会にしたいと考えました。結果としては、オンラインWeek、カンファレンスWeekともに非常に多くの方に参加いただきました。カンファレンスWeekでは、時間をめいっぱい使って質問や議論が活発に行われており、リアルイベントの良さが再確認できました。参加された皆様に、リアルでの出会いを楽しんでいただけていたのであれば幸いです。



- 01 オンラインWeekの様子
- 02 ハンズオンプログラムも開催しました
- 03 満員御礼！ 04 毎年定番かつ人気のプログラム
- 05 懇親会も盛り上がりました

SNSでの投稿について

参加者の皆様によるプログラムへの感想や実況の投稿はもちろんのこと、ご協賛企業やご講演者様が所属する企業の皆様から、展示ブースや講演の様態を紹介する投稿もありました。今回のハッシュタグ #iw2023jp が付けられた投稿は、プログラム委員や事務局など関係者一同、楽しく拝見していました。Internet Week

事務局のSNS※2では、今回もInternet Week 2023のプログラムの様子を写真付きで紹介しています。こちらもご覧くださいましたら幸いです。

※2 https://twitter.com/InternetWeek_jp
<https://www.facebook.com/InternetWeek/>

これからのインターネットと社会を、あなたと共に創っていく

～メインプログラムIP Meeting2023で伝えたかったこと～

IP Meetingの起こりとそのコンセプト

Internet Weekのプレナリ(全体会合)である「IP Meeting」というメインプログラムをご存じでしょうか?この業界に長くいらっしゃる方々は、名前は知っているよ、参加したことがあるよ、という方も多いかもしれませんが、一方で聞いたことがない方もいらっしゃると思いますので、あらためて説明いたします。

IP Meetingは、1990年にJEPG/IP (Japanese Engineering & Planning Group/IP)というグループが、日本のインターネット関係者が相互接続に向け情報交換するオンサイトの場として始めたミーティングが起源です。その後、インターネットやそれを支えるエンジニアが急速かつ広範に広がったことで、1997年にIP Meetingを核にして、より教育的・啓発的なプログラムを含んだ「Internet Week」が開催されるようになったという経緯があります。つまりIP Meetingは、Internet Weekの母です(詳しい経緯は65号^{※3}でご紹介しています)。

と、34年目を迎えるこのIP Meetingではありますが、決して歴史語りをしたいわけでも、そしてそれをする場でもありません。今も昔も、「私たちの【これから】を考える場でありたい」というのが、その一貫したコンセプトです。これからを考えるために、前半は「その年の総括と最新動向」を伝え、そして後半は「今後に向けて」を共に考え議論する場としています。その年のInternet Weekに参加いただいた誰にとっても、1年の振り返りと次年の準備に役立ち、そして共に未来を考えていく場としてありたいということです。

IP Meeting2023の内容

IP Meeting 2023^{※4}は三部構成でした。非常にざっくり言うと、第一部で今年を振り返り、第二部で現状のインターネットの課題を捉え、第三部では将来の技術を支えるインターネットを考察する、という構成です。

○第一部:2023年の知っておくべき動向

第一部では、2023年の知っておくべき動向として、2023年「イマココ」のインターネットの理解するため重要な内容をご紹介します。紙面の都合上、タイトルのみご紹介します。

- ・「インターネットの運用動向」
- ・「国際会議から知っておくべき技術標準」
- ・「2023年のインターネットガバナンス」
- ・「アジアのインターネットのイマココ」

○第二部:

パネルディスカッション:ちょっとさきのことをみんなで考える

「タイトルを見た方は、ひらがなばかりなのでもやもやしてしまったかもしれない」とモデレータのクロサカ氏が口火を切りましたが、「(1)アイデンティティとトラスト」「(2)ドメイン名とトラスト」「(3) NFTとトラスト」という、トラストをキーワードにデジタル空間におけるアイデンティティとデータの信頼性をどうとらえて保つかと、大きく三つのテーマのもとで、展望や期待について意見を交換しました。モデレータとパネリストは次の方でした。

- ・クロサカ タツヤ(モデレータ・株式会社企)
- ・松本 泰(セコム株式会社)
- ・鈴木 茂哉(慶應義塾大学/WIDEプロジェクト)
- ・米谷 嘉朗(一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC) デジタルトラスト評価センター 主席研究員)
- ・栗田 穰崇(ドワンゴ)

パネリストからは、自分でコントロールするデータ保護や、エンドユーザーから見た時に技術の課題にいい塩梅に取り組んでいきたいという話があった一方、デジタルアイデンティティの問題は“rough consensus and running code”のインターネットの技術思想だけでは進められないことも多く、「データアイデンティティwithトラスト」の難しさも浮き彫りになりました。モデレータのクロサカ氏は、「インターネットをみなが使うようになった(大衆化)、その上で雑多な目的、つまりは高尚な目的もあればそうでないものすべてがインターネットの上に載っている」ことに言及し、「今やインターネットではうまくコントロールができなくなってきたということに困っている」が、「このセッションをどんなインターネットを作っていけばいいかを考えるきっかけとして欲しい、そして今後のインターネットを作る活動をここにいるメンバーと一緒にやってもらいたい」と結びました。

○第三部:

パネルディスカッション:新技術を支えるインターネット基盤を考える

第三部はもう少し先の未来の新技術の話です。AI、量子コンピュータ、惑星インターネット、そしてサイバネティックアバターなど、実現に向けては課題も多いがワクワクする新技術の紹介とともに、これらの新技術を支えるインターネット基盤についても議論がありました。詳細は紹介できないため、一端はぜひ公開している資料をご覧くださいなのですが、新技術がもたらすインターネットの変革に向けて、技術者や研究者が共同で考える必要性についての話で力強く結ばれました。モデレータ、パネリストは次の方でした。

※3 Internet Week開催から20年。Internet Weekのはじまり
<https://www.nic.ad.jp/ja/newsletter/No65/0320.html>

※4 IP Meeting 2023
<https://internetweek.jp/2023/archives/program/c14>

- ・砂原 秀樹 (モデレータ・慶應義塾大学)
- ・内田 真人 (早稲田大学)
- ・林憲一 (SambaNova Systems)
- ・永山 翔太 (株式会社メルカリ/慶應義塾大学)

今回のIP Meeting2023で伝えたかったこと

最後の第三部について、詳しくはご紹介できなかったのですが、モデレータの砂原秀樹先生が壇上でおっしゃっていたことに、すべて尽きているのではないかと考えます。

「新技術の領域、今、そこに乗ればパイオニアになれる、ワクワクする領域である。みんなに取り組んで欲しい」こと。そして、「たとえそれとは違う方向性の仕事をしていたとしても、こういう時に『誰かがやってくれるだろう、自分とは関係ない』と思わないで欲しい。新技術を支えるインターネットをどうするかは、みんなで解かなくてはならない問題であり、トップランナーだけで解けない問題。気になるトップランナーの活動に協力して欲しい。システムは皆で作っていくものである」こと。

以上が、IP Meeting 2023のレポートです。今後のインターネットの進化、深化に向けて、参加者の皆様が議論を深め、新たな展望やアイデアを生み出すきっかけとして、これからもIP Meetingが機能していくことを望みます。そして多くの方が参加してくれることを願ってやみません。

提供プログラムについて

Internet Weekのプログラムは、プログラム委員会^{※5}によって企画されており、今回は右記の全20プログラムを作成しました。タイトルのみのご紹介になりますが、タイトルから2023年のキーワードを感じていただければと思います。

11月15日 オンラインWeek 1日目

- ・O1 インターネットを守る技術普及について考える
～インターネットワーキングのススメ～
- ・O2 ROAキャッシュサーバハンズオン
～RPKI/ROVの普及を目指して～



11月16日 オンラインWeek 2日目

- ・O3 「効果が出る」ネットワーク自動化の始め方
～課題設定と自動化のアプローチ～
- ・O4 AWSクラウドによるIPv6対応Webサイト構築ハンズオン



11月17日 オンラインWeek 3日目

- ・O5 【学生・若手歓迎】「セキュリティの仕事、どんなことをしているの?どうしたらなるの?」2023
- ・O6 Abuse対応の理論と実践 ～abuse対応ははじめの1歩～



11月20日 カンファレンスWeek 1日目

- ・C1 サイバー攻撃2023
- ・C2 開発がわかる運用組織、内製できる運用組織
- ・C3 セキュリティ観測者は見た! ～各種現場から～
- ・C4 改めて監視を考えよう ～モニタリング・オブザーバビリティ～
- ・C5 スナックまさこ3 ～スピークイージー～
- ・C6 あつまれ!セキュリティ運用ピーポー
- ・C7 サイバー攻撃被害の公表、果たして「正解」なんてあるのか?



11月21日 カンファレンスWeek 2日目

- ・C8 PKIのこのごろ
- ・C9 Flow技術まとめ ～基礎から最新動向・応用まで～
- ・C10 DNSDAY
- ・C11 ネットワークを支えるケーブルファンリティ 2023
- ・C12 脱VPNへの一歩!! ～ZTNAの必要性和技術解説～
- ・C13 IPv6の真の普及にむけて
～残る課題と解決への道筋を総務省の「IPv6対応ガイドライン」に照らし合わせて～



11月22日 カンファレンスWeek 3日目

- ・C14 IP Meeting ～集まれ!インターネットワーキング!～



ほかにも、ご協賛企業によるセッションが七つと有志によるBoFが五つ開催され、6日間を通して盛況呈していました。

※5 <https://internetweek.jp/2023/archives/operation>

Internet Week 2024に向けて

来年もまた秋頃に、Internet Week 2024を開催予定です。詳細が決まりましたらJPNIC Web等でお知らせします。

Internet Week 2023に残念ながらご参加いただけなかった方も、講演資料は次のWebサイトで公開しています。また、基礎的な内容のプログラムのオンデマンドのご活用もお願いします!

- ◎ Internet Week 2023 講演資料
<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/iw/2023/proceedings/>
- ◎ Internet Week Basic オンデマンド (YouTubeビデオ)
<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/iw/ondemand/>

JPNIC
ブログ

- ◎ Internet Week 2023 開幕まであと3週間! <https://blog.nic.ad.jp/2023/9325/>
- ◎ Internet Week 2023 が開幕しました! <https://blog.nic.ad.jp/2023/9381/>
- ◎ Internet Week 2023 フォトレポート
「集まれ!インターネットワーキング!」
<https://blog.nic.ad.jp/2024/9504/>

Internet Week 2023を無事閉幕できたことに感謝し、Internet Week 2024で、また皆様にお会いできることを楽しみにしております。

開催概要

名称	Internet Week 2023
会期	2023年11月15日(水)から11月22日(水) [オンライン Week] 11月15日(水)、16日(木)、17日(金) [カンファレンス Week] 11月20日(月)、21日(火)、22日(水) カンファレンスWeek会場: 東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール
URL	https://internetweek.jp/2023/
企画・運営	Internet Week 2023 実行委員会、プログラム委員会

協賛

株式会社日本レジストリサービス	KDDI 株式会社
アリスタネットワークスジャパン合同会社	株式会社JPiX
BBIX株式会社	センコーアドバンス株式会社
インターネットマルチフィールド株式会社	エンタメ総合メディア「U-WATCH」operated by GEAR
株式会社エービーコミュニケーションズ	Asia Pacific Network Information Centre
株式会社SRA	

お問い合わせ先 Internet Week 2023 事務局 (JPNIC内) E-Mail: iw-info@nic.ad.jp